むらかみ食堂

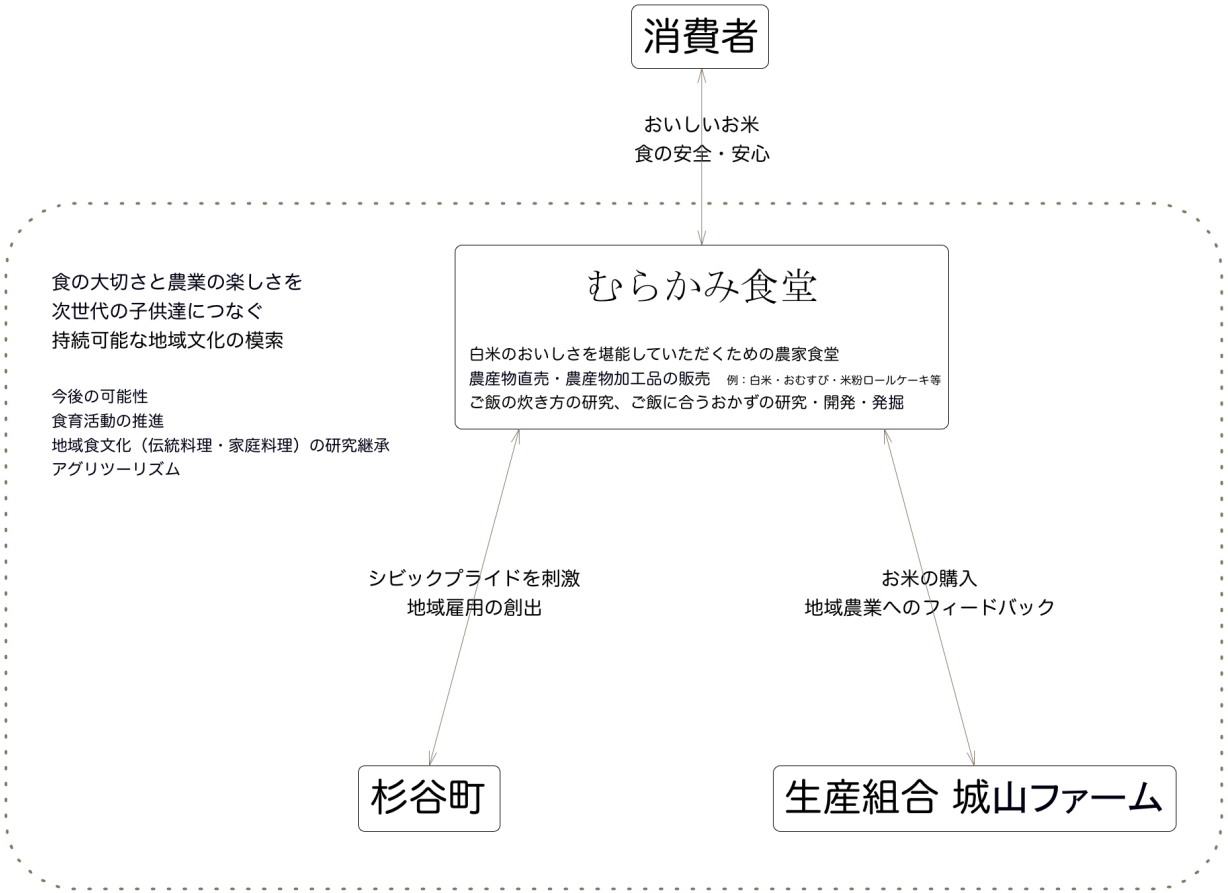
むらかみ食堂は、
「のどかな田園風景」と「食」と「農」を
次世代の子供達につなぐことを目的とした、
地元で収穫されたお米を中心とする農産物を提供する農家食堂です。

福井市杉谷町は、
３０世帯程の住宅が建つ小さな集落で、
先祖代々にわたり世代を超えて農業に励んできた地域です。

敷地西側には城山、
敷地東側には農業振興地域に指定された水田が広がっており、
遠くには白山連峰を見渡すことが出来ます。

ここに四季のうつろいを感じながら食を楽しむことの出来る、
この場所に昔から建っていたような
自然な佇まいの農家食堂を考えました。

この食堂により人と農業がダイレクトにつながることで、
地元の活性化だけでなく、
持続可能な地域文化のあらたな可能性を模索します。



[プロジェクトが立ち上がることになった背景]

福井市杉谷町では、少子高齢化の影響で農業の後継者が少なく、ＴＰＰ 等の不安定な社会情勢の中、地元住民の間で生産効率をあげるための「生産組合城山ファーム」が立ち上がりました。

また、地元の一兼業農家である村上氏の「食の大切さと農業の楽しさを次世代の子供達につなげていきたい」との思いがあり、食の原点回帰を考え、若者がお洒落だと感じてもらえるライフスタイルが提案できる農家食堂計画がスタートしました。

この食堂により人と農業がダイレクトにつながることで、食の大切さと農業の楽しさを次世代の子供達につなぐ、持続可能な地域文化のあらたな可能性を模索します。

敷地西側には城山、その麓には約3０世帯程の小さな集落があり、築1００年以上の古民家や蔵・納屋が建ち並ぶ懐かしい風景が広がっています。

東側には農業振興地域に指定された水田が広がっており、遠くには白山連峰を見渡すことが出来ます。

田んぼのランドスケープは、世界に誇れる日本の原風景であり、昔から継続してきた「食」と「農」も同様に世界に誇れるものです。

今回の食堂によってそれらの身近な資産を顕在化させることで、地域の宝に気付き、自らの地域に誇りを持つきっかけとなってほしいと考えています。

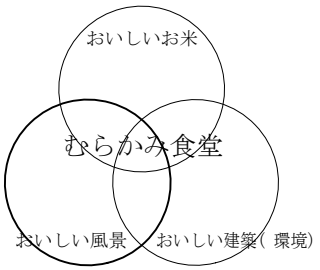
おいしい風景を取り込む
［ 田んぼのランドスケープを楽しむ農家食堂］

お米が生産されている田んぼに向って全開出来る大きな開口部を設け、田畑や農作業風景を眺めながら食事ができる、周辺環境に開かれた食堂としました。

また、その風景の先には、水源となる白山連峰が見渡せ、雄大な山並みに視線を誘導するように薪小屋を配置しています。

白山から流れ出る豊富な水流は、命をつなぐ親神様として信仰の対象になってきました。

生産者や生産地が見えるだけでなく、命の水を供給してくれる白山への思いを巡らせながら食事を楽しめる計画としています。



［地盤改良］

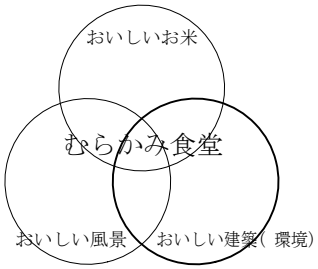
福井県産の杉（間伐材）を活用した環境パイル工法による地盤改良工事。
地盤の補強だけでなく、森の再生を助け、環境を守り、地域の活性化につながる、環境にやさしい地盤改良工事です。
東京駅や寺院など歴史的建造物の地盤は、現在も木杭が支えています。

おいしい建築（環境）を考える
［周辺環境に溶け込む地元の素材でつくられた農家食堂］

この地域に昔から建っていたような自然な佇まいの建築を目指し、使用する素材はトレーサビリティーがシンプルな地元の自然素材を使用するように心がけました。

外観は、周辺の納屋や蔵との調和を考え、杉下見板貼りのシンプルな切妻屋根とし、周辺環境に溶け込む目立たないデザインとしています。

地元の食材を地元の自然素材でつくられた建物で味わうことができる農家食堂です。



［外壁・主要構造］

外壁は、周辺の納屋や蔵で使われている杉材（福井県産材）による下見板貼りとしました。

主要構造部等の木部は、全て無垢の木材を使用し、柱や枠材は国産材を採用しました。

［テーブル・内装］

肌触りがやさしい杉柾赤杉（福井県産材）を使用。傷がつきやすい素材ですが、炊きたてのお米をおいしく食べることを考慮した結果採用しました。

また、内部の壁・天井仕上は、しっくい塗りとした。

主要用途	飲食店(農家食堂)
構造	木造(在来工法)
用途地域	農業振興地域
敷地面積	498.00㎡
建築面積	90.78㎡
1階延床面積	81.77㎡
2階延床面積	55.40㎡
延床面積	137.17㎡
建蔽率	18.23%
容積率	27.55%

○基礎　べた基礎

○地盤改良　環境パイル工法
木杭(杉間伐材・福井県産材)による地盤改良

○構造(軸組)

土台	桧135×120
柱	杉1等120×120、135×135
胴差・梁	米松1等

○断熱材

天井	高性能グラスウール16K(熱抵抗2.6)t=100×2
壁	高性能グラスウール16K(熱抵抗2.6)t=100
基礎立上	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b t=45

○外部仕上げ

屋根	ガルバリウム鋼板t=0.35縦はぜ葺き
外壁	杉下見板貼りt=12/25(1等材・さね付き・福井県産材)
開口部	木製建具、アルミ樹脂複合サッシ
雨樋	ガルバリウム雨樋
外構	コンクリート金鏝押さえ、じゃみ石敷き

○薪小屋　屋根:カラーガルバリウム鋼板平板t=0.4
柱　:桧1等90×90@1820
梁　:桧1等90×90@1820
ルーバー:桧1等30×30@60

○内部仕上げ

[1F　食堂]

床	モルタル金鏝押t=30 防塵塗装
壁	しっくい塗り Cトップ下地t=3 PBt=12.5パテ処理
天井	しっくい塗り(ﾌｪｻﾞｰﾌｨｰﾙ) 紙下地 PBt=9.5パテ処理

[1F　厨房]

床	モルタル金鏝押t＝30 無溶剤形エポキシ樹脂系塗床材
壁	化粧硬質ケイ酸カルシウム板t=6突付シール PB GB-St=12.5
天井	ケイ酸カルシウム板t=6突付シール

[1F　WC]

床	モルタル金鏝押t=30 防塵塗装
壁	しっくい塗り Cトップ下地t=3 PBt=12.5パテ処理
天井	しっくい塗り(ﾌｪｻﾞｰﾌｨｰﾙ) 紙下地 PBt=9.5パテ処理

[2F　事務室・収納]

床	下地構造用合板t=28(あらわし)
壁	PBt=12.5(あらわし)
天井	PBt=12.5(あらわし)

○設備システム

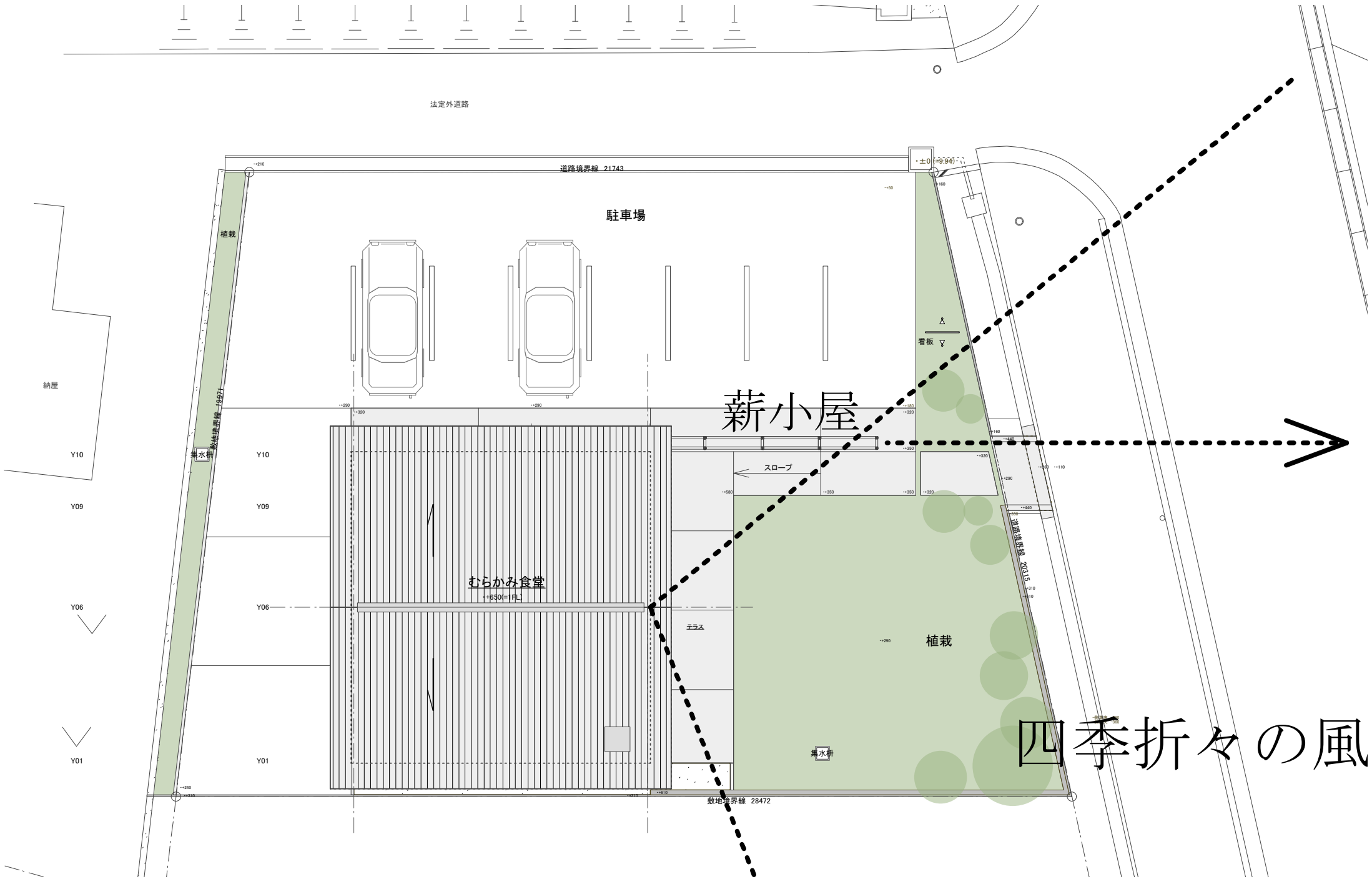
空調	冷暖房方式	エアコン
	換気	第3種換気
給排水	給水方式	上水道直結
	排水方式	下水道放流
給湯	給湯方式	ガス瞬間湯沸器

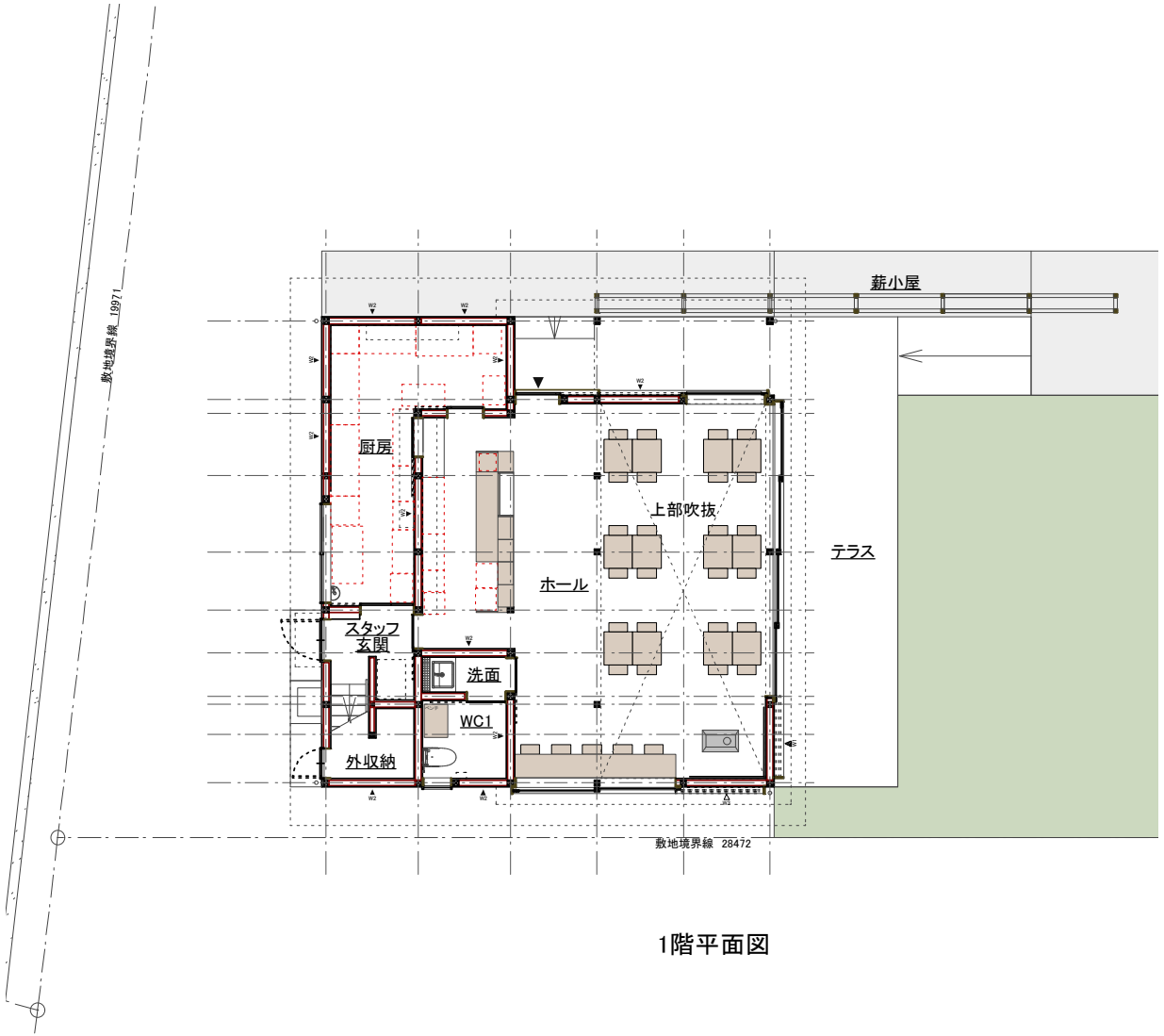
○家具工事

テーブル	杉柾赤身 (福井県産材)

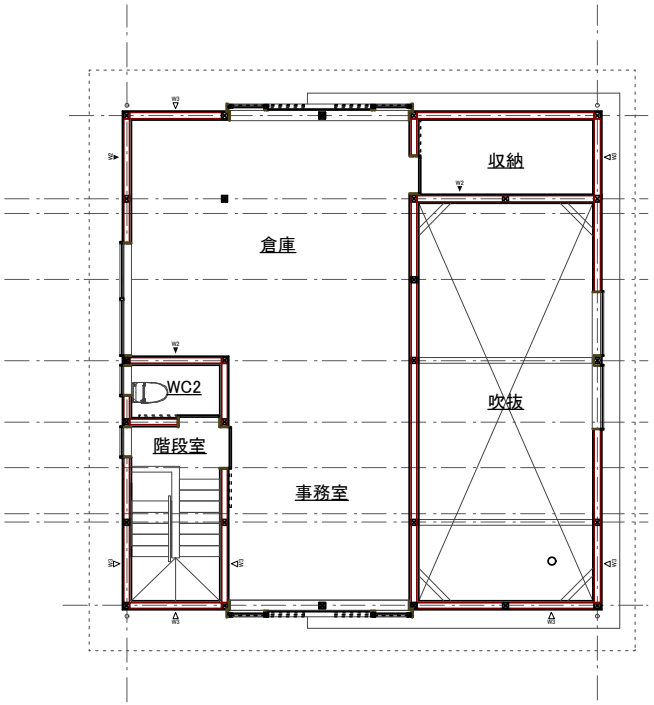
配置図

Scale 1:150




敷地境界線 19971
薪小屋
厨房
上部吹抜
ホール
テラス
スタッフ
玄関
洗面
WC1
外収納
敷地境界線 28472

1階平面図


収納
倉庫
WC2
階段室
事務室
吹抜

2階平面図

[むらかみ食堂が建設されたことによる実績]

２０１４年１０月の開店から1年１０か月が経過し、現在も連日多くの人で賑わっています。平日は約６０人、週末は約１００人の方が平均して訪れ、行列のできるお店となっています。

食堂で出されるお米は、地元の「生産組合城山ファーム」から購入。既存の流通システムに頼ることなく地元にお金が落ちるしくみをつくることができ、地域の雇用創出にもつながっています。

また、地域住民の景観への意識も高まり、地域住民が応募した福井市景観賞２０１５において、「城山と麓の集落（杉谷町）」が「風景部門　部門賞」を受賞。食堂を訪れた際に、周辺の古民家が建ち並ぶ集落や水田を散策するお客様の姿も見られます。（むらかみ食堂も福井市景観賞２０１５　まちなみ部門　特別賞を同時受賞）

まだまだ始まったばかりの取り組みではありますが、単なる食の安全安心だけを提供する農家食堂を超えたあらたな地域文化の始まりを感じます。温故知新。古くて最先端のモデルがここにはあります。